

「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成		
施策	③スポーツ・レクリエーション環境の整備			
(施策の小項目)	○スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実			
主な取組	○がんじゅーどー事業	実施計画 記載頁	93	
対応する 主な課題	○生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	県民の健康づくり活動を促進させるため、年間を通して安全・安心してウォーキング・ジョギング等のできる道路空間整備を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
			基本計画	実施計画	実施	→	県
担当部課	土木建築部 道路管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成27年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
がんじゅーどー事業	142,500	142,173	奥武山米須線等のモデル5路線において、弾性舗装等を整備した。	一括交付金(ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
-			-	-
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成27年度取組の効果			
順調	奥武山米須線等のモデル5路線において、計4.2kmの弾性舗装等を整備した。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成28年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
がんじゅーどー事業	161,000	奥武山米須線等のモデル5路線の整備、整備効果の検証及び、追加路線検討を実施する。	一括交付金(ソフト)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成27年度の取組改善案	反映状況
①モデル路線の整備を進める為に、基本計画を踏まえ実施計画の策定を円滑に推進し、早期にモデル路線の整備実施に着手出来るように図る。	①奥武山米須線等のモデル5路線において、計4.2kmの弾性舗装等を整備した。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	モデル5路線の現状のウォーキング・ジョギング等利用者数を調査し基準値を設定した。 平成28年度からモデル路線の整備と合わせて効果検証を実施、検証結果を踏まえて追加整備路線を検討する事により、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備に寄与している。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業効果を高めるため、必要に応じて他の道路管理者と連携した整備が必要となる。整備計画や効果検証結果を共有し、市町村道等での事業化を働きかける。 <p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康・長寿おきなわ」を維持継承するため、県民が健康活動(ウォーキング、ジョギング等)のしやすい道路空間が望まれている。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> ・県民が健康づくりを行いやすい環境整備を行うため、26年度に選定した5モデル路線の整備推進を図る必要がある。
--

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> ・モデル5路線の整備を推進するとともに、効果検証を実施し、検証結果を踏まえて追加整備路線を検討する。追加整備路線の選定にあたっては、市町村道等も含めたネットワークの構築を検討する。
--

「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成		
施策	③スポーツ・レクリエーション環境の整備			
(施策の小項目)	○スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実			
主な取組	都市基幹公園等の整備	実施計画 記載頁	93	
対応する 主な課題	○生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するためスポーツやレクリエーション活動の場として利用できる総合公園・運動公園等の整備を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	69.3%			→	72.6%		県 市町村
	総合公園、運動公園等の整備					→	
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成27年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
公園費(社会資本交付金) 公園費(公共投資交付金)	3,357,697 (1,012,966)	1,661,919 (903,108)	スポーツ・レクリエーション活動として利用できる場を形成するため、県営の総合公園、運動公園等において用地買収や園路広場、休養施設等の整備を行った。	内閣府 計上
市町村	—	—	スポーツ・レクリエーション活動として利用できる場を形成するため、市町村の総合公園、運動公園等において用地買収や園路広場等の整備を行った。	—
活動指標名			計画値	実績値
整備率			71.8%	67.4%(暫定値)
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成27年度取組の効果			
順調	県営公園及び市町村営公園において、用地買収や園路広場等の整備を行い、スポーツやレクリエーション活動の場を拡大したことで、計画値の90%以上の達成が見込める。整備が完了することでスポーツやレクリエーション環境の充実が見込める。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成28年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
公園費(社会資本交付金) 公園費(公共投資交付金)	3,671,011 (1,585,920)	スポーツ・レクリエーション活動の場として利用できる場を形成するため、県営の総合公園、運動公園等において、用地取得や園路、遊戯施設等の整備を行う。	内閣府計上
市町村	-	スポーツ・レクリエーション活動の場として利用できる場を形成するため、市町村の総合公園、運動公園等において、用地取得や園路広場、運動施設等の整備を行う。	-

(3) これまでの改善案の反映状況

平成27年度の取組改善案	反映状況
<p>①公園整備については、公園用地取得に向け、地権者、所有者等の協力が得られるよう粘り強く交渉を続け、市町村を通じ地元自治会や関係者等の協力を得ながら、事業を推進していく。また、不測の事態にも対応できるように配慮し計画的な整備を行っていく。</p> <p>②整備効果を早期に発現させるため、部分的な供用も含めて都市公園利用面積拡大を図る。</p>	<p>①公園整備の効果を早期に発現させるため、市町村を通じ地元自治会、関係者等とも協力しながら円滑な公園整備に努め、不測の事態にも対応できるように配慮し整備を推進した。</p> <p>②首里城公園等の一部完成した公園については部分的な供用開始に取り組むことで、供用面積が増加し、整備率を上昇することができた。</p>

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積(1人あたり)	6.0㎡ (22年度)	6.2㎡ (26年度)	6.5㎡	0.2㎡	4.1㎡ (25年度)
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-

状況説明	地権者等の協力が得られないことにより、計画的な整備推進ができないため、成果指標としては、基準値とほぼ同値で推移している。今後とも公園事業の計画的な事業進捗を図るため、早期の公園事業用地取得に努め、事業を推進していくことでH28目標値を達成できる見込みである。
------	---

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <p>・公園整備を行うにあたり公園予定地の用地確保が必要となるが、用地取得や物件補償において、事業への理解が得られないことや代替地が確保できない等により地権者の協力が得られないため、契約に至るまでの交渉に長期間を要している。</p> <p>○外部環境の変化</p> <p>-</p>
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>・公園整備については、整備の効果を早期に発現させるため、部分的な供用開始も含めて、効率的かつ効果的な整備に努め、さらに公園用地取得に向けては、市町村を通じ地元自治会、関係者等とも協力しながら事業を推進していく必要がある。</p>

4 取組の改善案(Action)

<p>・公園整備については、公園用地取得に向け、地権者、所有者等の協力が得られるよう粘り強く交渉を続け、市町村を通じ地元自治会や関係者等の協力を得ながら、事業を推進していく。</p> <p>・また、整備効果を早期に発現させるため、部分的な供用も含めて都市公園利用面積拡大を図る。</p>

「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成		
施策	③スポーツ・レクリエーション環境の整備			
(施策の小項目)	○スポーツコンベンション施設の整備			
主な取組	沖縄県総合運動公園プロサッカースタジアム事業	実施計画 記載頁	93	
対応する 主な課題	<p>○県民のスポーツに触れる機会(観る、参加する)の創出のため、スポーツコンベンションの誘致が必要である。</p> <p>○生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。</p>			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	<p>プロサッカーを通じた観光振興や人材育成等のため、県内唯一の日本陸上競技連盟公認の第1種陸上競技場である沖縄県総合運動公園陸上競技場の機能を維持しつつ、J2規格サッカー公式戦を開催できるように改修する。</p> <p>具体的には、既設メインスタンドの改修及び、バックスタンド・ゴール裏スタンドの新設、屋外照明灯の新設、大型映像装置の新設、外構の改修を実施する。</p>						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
				一部供用開始(H27.3月)	全面供用開始(H28.4月)		県
	J2規格サッカー場の整備(メインスタンド改修等)						
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成27年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
沖縄県総合運動公園プロサッカースタジアム事業	120,002 (30,650)	94,960 (28,626)	J2公式戦開催に向けた陸上競技場の整備として、外構施設の改修を行った。	一括交付金 (ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
J2公式戦開催に向けた陸上競技場の改修工事			-	外構施設の完成
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成27年度取組の効果			
順調	外構施設の整備を完了し、すべての改修整備が完了したことで、プロサッカーに対応した施設の充実を図り、県民のスポーツに触れる機会(観る、参加する)の創出ができた。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成28年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
沖縄振興特別推進交付金	22,885 (22,885)	J2公式戦の運営向上として、備品購入(カメラ)を行う。	一括交付金 (ソフト)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成27年度の取組改善案	反映状況
①指定管理者及び利用団体と綿密に調整を行い、平成27年度末の施設整備完成及び平成28年4月からの全面供用開始を目指す。	①平成28年3月に全ての施設整備が完成し、全面供用開始を行うことができた。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
陸上競技場(プロサッカー対応可能)年間利用者数	17万4千人 (22~23年度平均)	16万2千人 (27年度)	22万5千人	△1万2千人	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	H27まで整備中であったため、現状値が基準値を下回っているが、J2基準のホームスタジアムが完成し、陸上競技場の機能が向上されたことで、平成28年度の目標値は達成可能と考える。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

○内部要因
—

○外部環境の変化
—

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・施設整備が完了し、今後は取組の効果向上のためソフト面での対策を検討していく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・県民のスポーツに触れる機会(観る、参加する)の創出のため、施設の利用促進に向けたイベント等を県・市町村のスポーツ関係部局や指定管理者と一体となって、スポーツコンベンションの誘致を検討する。